

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 企業との協働による森林づくり推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林活用推進課 電話番号：058-272-1111(内4349)
 森林吸収源対策室 緑化推進係

E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 601 千円 (前年度予算額：601 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	601	0	0	0	0	0	0	0	601
要求額	601	0	0	0	0	0	0	0	601
決定額	601	0	0	0	0	0	0	0	601

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

近年、環境貢献や社会貢献を目的として森林づくりに積極的に参加しようとする企業が増加傾向にあり、県民協働の森林づくりを推進するため、平成19年度から「企業との協働による森林づくり」を推進している。

企業を対象に森林づくりへの参加呼びかけ等の情報提供や活動内容の提案等を行う。

(2) 事業内容

①企業への情報提供等

企業への情報提供、企業訪問による個別説明、候補地の現地案内

②協定締結及び森林づくり活動の支援

実施予定企業との協定締結式や実施企業への活動支援

③森づくり条例に関する検証

二酸化炭素吸収量の認定のための現地調査

(3) 県負担・補助率の考え方

県民との協働による森林づくり推進のための経費であるため、県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	184	業務旅費
需用費	316	協定書ホルダー等
印刷製本費	18	賞状印刷（一部筆耕）
役務費	83	郵送料、筆耕料等
合計	601	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

1 森林づくりの推進

(1) 災害に強い循環型の森林づくり

(ウ) 森林経営管理法に基づく市町村による森林管理の支援

(d) 森林づくりの多様な担い手の育成と支援

(2) 国・他県の状況

企業の森活動の実施県 47都道府県

(3) 後年度の財政負担

毎年同額程度の財政負担が必要である。

(4) 事業主体及びその妥当性

県は、県民協働による森林づくりを推進しており、協定締結者である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内各地で、企業やNPO団体等が地域の自治体や住民と協働して、継続的な森林づくりを進めていく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H22)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①協定締結数（累計）	13	30	29	30	32	94%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 県内各地において企業の森づくり活動を実施した。 企業と市と県で協定締結を行った。（1件）
	指標① 目標：26 実績：26 達成率：100%
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 県内各地において企業の森づくり活動を実施した。 森林づくり活動に関心を持つ企業へ情報提供等を行った。
	指標① 目標：27 実績：26 達成率：96%
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 県内各地において企業の森づくり活動を実施した。 森林づくり活動に関心を持つ企業へ情報提供等を行った。 企業と市と県で協定締結を行った。（4件）
	指標① 目標：28 実績：30 達成率：107%

2 事業の評価と課題

①企業への情報提供等

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない	
(評価) 3	近年企業の社会貢献や環境等に対する意識は高く、森林づくりには継続が不可欠のため、事業の必要性が高い。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	令和4年度末までに30件の協定を締結し、県内各地で継続的に森林づくりの輪が広がっていることから、事業成果は現れている。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている	
(評価) 2	森林づくり活動が行われる際に、事前にホームページへ掲載するとともに、報道機関へ情報提供を行っている。新聞記事等に記載されることにより、効率的かつ効果的に取組をPRしている。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 協定期間が満了する企業等に対して、活動の継続実施を働きかけていくことが必要である。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 森林づくり活動を希望する企業に対し、活動場所の紹介、活動計画の作成などの支援を行う。協定締結済みの企業等に対しては、森林づくりサポートや広報の支援を行う。 さらに、県内の森林で創生されたカーボン・クレジットを一定期間継続して購入する企業とも協定を締結し、同様に支援を行う。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	